

JA全農えひめ情報

# みらいへど

5

2016・May

■特集

「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」オープン



▶宇和町の観音水と同じ水脈を使用する西本酒造。柔和で懐の大きさを感じさせる西本社長と



# 愛媛の酒蔵めぐり



## 西本酒造株式会社

代表銘柄 虎の尾、大番  
 創業 1793年（寛政5年）  
 代表者 代表取締役社長 西本 勝  
 住所 宇和島市三間町宮野下855  
 TEL 0895-58-2008



▲（右）兵庫県産山田錦、精米歩合38%の極上「大吟醸 虎の尾」（中）「清酒 大番」。ラベルには三間町をアピールするコスモスが描かれている（左）「純米大吟醸 大番 しづく媛」。精米歩合45%、今年は若干甘め

## 虎の尾、大番

旧街道の三叉路に立つ酒蔵には220余年守り続ける銘柄があります。寛政5年、時の上州屋「桑名屋」が宇和島・伊達藩の一揆で百姓達にふるまったという「虎の尾」です。昭和12年に先代が蔵主となり「西本酒造」へ社名を変更し、昭和中期に誕生した銘柄「大番」は獅子文六による宇和島が題材の痛快人情小説に由来。時代を生き抜く蔵元です。

昭和40年に社長に就任した西本勝さんは昭和50年、愛媛県初の製造責任者を兼ねるオーナー杜氏となり、40余年経つ今なお「酒造りは難しい」と言います。麹のつくり方、酵母の特徴、夜間の温度調節1℃の読み違いで発酵が変わる、グルコース（糖）とのバランス調整、等々。時代の嗜好が香りから味重視へと移ろうのもまた然り。県産米・しづく媛については「溶けやすく、精米から用心して造らないと」、「機嫌をとるのが難しいが、うまくいくとスカッとした軽くて旨い酒になり、これほどいい米はないかもしれない」とも。「酒造りは長年の勘が頼り。毎年違い、造り手が変わるとすぐ味に表れる。だから酒造りは面白い」と、実績に裏打ちされた重い言葉が返ってきます。地元を中心に販売する酒は、西本さんの豊かな人柄をエッセンスに熟成した深い味わいを醸しています。

# めぐり〜ど

May 2016

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



今日は五月晴れなり。菖蒲やサツキが咲き乱れる公園に遠足にきた子どもたち。そこそこで車座になり、お母さん渾身のお弁当を広げて、楽し〜い食事の時間です♪ おにぎり、巻き寿司、卵焼き、唐揚げ、ウインナ、ジャガイモ、空豆、アスパラガスにトマト、夏みかん、季節の野菜もふんだんに。頭上ではチュンチュン・雀がおこぼれを狙っているのかな。

●表紙：遠足  
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.185

愛媛の酒蔵めぐり⑪〜西本酒造(株)

- 2 <特集>「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」オープン  
農産物直売所とコンビニとの相乗効果  
を発揮し、地産地消を推進します。
- 6 オレンジデーイベント開催
- 8 THE・ねっとわーく
- 9 統計BOX
- 10 ふるさと ESSAY VOL.253  
俳句で自分史を  
八木 健さん
- 12 TOPIC NEWS
- 15 なんでもBOX 平成28年度えひめの食広報番組紹介
- 16 READERS通信  
NOW NOW COOKING  
<今月の素材> 生椎茸

### JA全農えひめ

ホームページ  
<http://www.eh.zennoh.or.jp>

- JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆(株)えひめ飲料  
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆JAえひめアイパックス(株)  
<http://www.iyokkora.jp/>
- ◆JAえひめ物流(株)  
<http://www.jat-ehime.co.jp/>
- ◆JAえひめフレッシュフーズ(株)  
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆(株)ひめライス  
<http://www.himerice.jp/>
- ◆JAえひめエネルギー(株)  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

# 農産物直売所とコンビニとの相乗効果を 発揮し、地産地消を推進します。

J A全農えひめは、4月29日、愛媛県東温市北野田に地産地消の推進拠点として、農産物直売所とファミリーマートの一体型店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」をオープンしました。

同店舗はJ A全農と(株)ファミリーマートが締結した「Aコープ包括提携契約」に基づき開店したもので、J A全農直営の農産物直売所としては全国初の一体型店舗です。今後一体型店舗の相乗効果を発揮し、生産者と消費者のふれあい活動を行いながら地域に愛される店舗づくりを進め、地域農業の活性化と地域のくらしへの貢献に努めていきます。

**売場面積は通常のコンビニの3・5倍で利便性向上！**

J A全農えひめが設置・運営する「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」は、コンビニエンスストアと農産物直売所という2つの機能を兼ね備えています。通常のコンビニエンスストアの商品やサービスの提供はもちろんのこと、農産物直売所な

らではの品揃えを活かすため、売場面積は通常のコンビニエンスストアの約3・5倍となる約160坪（約533㎡）としました。

最大の魅力は、農産物直売所とコンビニエンスストア（ファミリーマート）の多様な商品・サービスの融合による利便性の向上です。豊富な品揃え、24時間営業・年中無休でカード決済等も可能となったことで、農産物直売所を利用する主婦層・

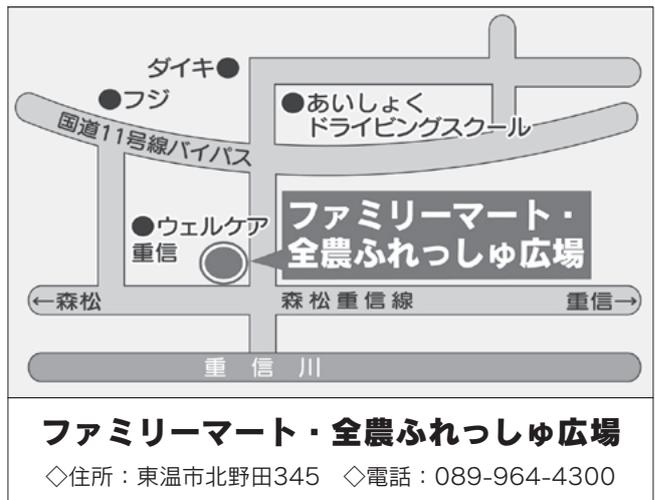
高齢者層だけでなく、コンビニエンスストアの主たる客層（20～40代）の男性客など幅広い層のお客様のご利用を見込んでいます。

**農産物直売十家庭園芸十  
全農のお肉屋さん十コンビニ**

商品はファミリーマート商品約3,000アイテム、エコープマーク品・全農ブランド商品や県本部とゲ



▲店舗壁面に掲示しているロゴマーク



ループ会社・JA商品など約400アイテム、直売所の生鮮関連商品約100アイテムの計約3,500アイテムを品揃えしています。

売場面積の6割を占める農産物直売所は、出荷会員（「フレッシュユ市场部会」約400人）の新鮮な野菜・果物や花木類のほか、地元産米をその場で精米する精米コーナーや鮮魚コーナーも設置しています。

また、JA全農えひめとグループ会社のブランド農畜産物・商品の販売拠点として品揃えの充実と販売・PRの強化につなげていきます。特に精肉販売コーナーは、JA全農えひめ畜産部直営の「全農のお肉屋さん」として、対面販売方式で農家の思いとともに、愛媛県産ブランド肉の伊予牛「絹の味」「ふれ愛・媛ポーク」や「愛媛あかね和牛」などの直売・情報発信拠点として位置づけ、各種イベント等も開催しながら愛媛のブランド肉を美味しさ・特徴を消費者に直接アピールしていきます。

店内には木目調の内壁やカウンターを採用するとともに、陳列商品がすぐにわかるように各ゴンドラにはコーナー名を表記し、28席（屋内16席・屋外12席）のイートインコーナーも設置することで、快適にお買い物いただける空間の環境づくりを

## ◆特集：「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」オープン



▲直売所コーナー



▲対面販売の全農のお肉屋さん

▲エコープマーク品なども販売。  
商品は全て同一レジで会計できる

▲県内JAの商品も展示



▲イートインコーナー



▲ 4月29日オープン当日は、外にも長蛇の列で、店内は大混雑しました



行っています。

また、すべての商品が、同一のレジで会計を行えるようになってい

ます。  
なお、24時間営業となったことで、フレッシュ市部会出荷会員の商品は、毎日朝6時〜午後8時に随時搬入されることになっています。

### オープン当日は 入店制限するほど大混雑

4月29日には、9時のオープンを前に開店を待ちわびた大勢の買い物客が詰めかける中、オープニングセレモニーを開催しました。

J A全農えひめの岡本健治運営委員会会長は、「本日のオープンを機に、地域の皆さまと組合員の皆さまのくらしを支援するとともに、『地産地消』を通じて地域農業の活性化により一層貢献してまいりたいと考えています。また当店舗はJ A全農とファミリーマートとの全国初の一体型店舗であり全国のJ A直売所の活性化モデルとなっていければと考えております。生産者と地域の皆様とのふれあいの場として今後ともご愛顧をお願いします」とあいさつしました。

続いて(株)ファミリーマートの中平



▲家族連れでにぎわった「れんげ祭り」会場（4月29日）



▲「フレッシュ市部会」による餅まき（4月29日）

義人常務が、「『ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場』はJ A全農との初めての一体型店舗ということで、大変期待しており、四国内三百数十店舗の中でも基幹店舗、シンボリックなお店として位置づけていきます。お互いの経営資源とノウハウを併せ持つて、単に商品を取売するだけでなく憩いの場・集いの場として、地域の皆様に貢献できるお店づくりをしていきたい」とあいさつしました。

J A全農・ファミリーマート・地

元J A・東温市・出荷会員組織「フレッシュ市」部会・愛媛県肉牛生産者協議会の代表者がテープカットの後、買い物客はオープン記念の粗品を受け取り足早に入店しました。

オープン初日は、店舗に隣接したれんげ畑の無料開放や移動ふれあい動物園を設置したほか、フレッシュ市部会員による餅まき、伊予牛「絹の味」マスコットキャラクター「ひめ丸」と「ふれ愛・媛ポーク」マスコットキャラクターの「ひめとん」の着ぐるみも来店するなど各種交流・ふれあいイベントを実施。駐車場も満車状態で、一時は入店制限するほど大勢のお客様で混雑しました。

### 全農初の一体型店舗 直売所の新たな 事業形態モデルに

J A全農えひめは、平成11年から同敷地で、営農用資材店舗と農産物直売所の県域モデルとして「J Aグリーンえひめ」を出店していました。周辺地域で農産物直売所の出店も相次ぎ競争が激化する中、新

たな事業形態について検討を進めた結果、県内一円でのJ Aグリーン・生産資材店舗およびJ A直売所の普及が進んだこと、東温地区においてもJ Aの資材店舗・体制が整備されたことから営農用資材店舗は廃止し、新たに「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」として出店しました。

新店舗では、一体型店舗の相乗効果を発揮するとともに、生産者と消費者の交流の場としてふれあい活動を行いながら地域に愛される店舗づくりを進め、地域農業の活性化と地域のくらしへの貢献に努めています。

また、同店舗は、J A全農と（株）ファミリーマートが双方のもつ経営資源や経営ノウハウを相互に有効活用し、組合員や地域の住民の利便性向上に努めることなどを目的として締結した「Aコープ包括提携契約」に基づき開店しました。J A全農直営の農産物直売所としては全国初の一体型店舗として注目されており、直売所間の競争激化の中で、売上高や集客が伸び悩む中小規模の直売所の新たな事業形態モデルとなるよう取り組みたいと考えています。

# 道後温泉本館前と松山空港で 4月14日「オレンジデー」イベント開催！

4月14日「オレンジデー」は、愛のシンボルである柑橘類などのオレンジを贈り合い、愛を育み大切な人との絆を深める記念日です。平成6年に愛媛県内の柑橘生産農家が発案したとされ、JA全農えひめが平成21年5月、日本記念日協会に登録した記念日です。

JA全農えひめは、愛媛発祥の「オレンジデー」を盛り上げて、生産量日本一を誇る愛媛産柑橘のPRと消費拡大につなげようと、昨年11月3日から「愛のオレンジロード」キャンペーンを展開し、オレンジデー当日の4月14日はその集大成として、松山市の道後温泉本館前と松山空港でサンプリングを実施しました。

## 道後温泉本館前と 松山空港で サンプリングイベント

4月14日の「オレンジデー」当日、JA全農えひめ果実課は、PRイベントとして松山市の道後温泉本館前と松山空港到着ロビーで旬を迎えた愛媛県産「清見タンゴール」を配布しました。

道後温泉本館前のイベントは昨年続き3回目。JA全農えひめ園芸部の渡部和光部長が、「今日は、オレンジ

デー。オレンジを贈り合って愛を深める日です。今が旬の清見タンゴールを4月14日にちなんで、414名様にプレゼントします。持ち帰って家族と愛する人と愛を深めていただきたい」とあいさつし、愛媛いよかん大使4人とJA全農えひめ職員が、「4月14日はオレンジデーです。大切な人と愛を深め合ってください」「愛媛県産の清見タンゴールをよろしく」と呼びかけながら、県内外の方414人に「清見タンゴール」とリーフレットを無料配布しました。

受け取った方は、「オレンジデーは初めて知りました」ありがとう。ラッキーです」「愛をたしかめたいです」と話していました。

結婚38年の記念で四国方面に旅行に来ていた大分県国東市在住の60代のご夫婦は、「愛媛の柑橘は種類も多くてファンです。偶然この配布イベントに遭遇し、ラッキーでした。これからも仲良くやっていきたい」と話していました。外国から来た方も多く、「サプライズ。うれしいです」と話していました。



愛媛発・ふたりで、みんなに。

4月14日は愛媛発祥の「オレンジデー」です。

JA全農えひめ



▲愛媛いよかん大使が笑顔でアピール



▲受け取ったご夫婦も大喜び。カップルの記念日として定着を！



▲松山空港到着ロビーでは旅行者やビジネスマンなどに配布



▲道後温泉本館前のイベント

## カップルの記念日として 定着を！

松山空港到着ロビーでも、愛媛いよかん大使4人が414人に「清見タンゴール」をプレゼント。思わぬプレゼントに受け取った方は大喜びでした。道後温泉と松山空港のイベントは県内の多くのメディアでも取り上げられ、愛媛いよかん大使は、「1月14日のいい予感の日、バレンタインデーが愛を届ける日、ホワイトデーが愛に応

える日、そしてオレンジデーが愛を深める日。ご家族や友人と旬の愛ある愛媛の柑橘を贈り合って、愛を深めていただきたい」「オレンジデーがバレンタインデー、ホワイトデーに続くカップルの記念日として定着してほしい」と呼びかけていました。

また、JA全農えひめは、4月14日の「オレンジデー」に向けて、4月9日・10日、東京・大阪地区の協力店で、愛媛いよかん大使が旬の柑橘の消費宣伝&オレンジデーPR活動を行いました。

# THE

# ねとわーく

## 「キレイがおいしい」「紅花卵卵」を新発売！ 「コクとうまみのある」「美活応援たまご」です。

JAひめ  
フレッシュ  
フーズ(株)

JAえひめフレッシュフーズ(株)は、愛媛

県内産鶏卵の販売拡大に向けて、仕事や家事

など忙しい毎日を送る中で美容と健康に  
関心の高い女性（特に30代以上の女性）  
をターゲットとした新商品「紅花卵卵」（べにばならんらん）を

4月1日から県内約80店舗で販売を  
スタートしました。

新商品は、美活（美を求める活動）  
に注目して女性社員の発案で企画・

開発・商品化したもので、「女性に  
うれしい」「美味しい」「安心安全」  
の3点にこだわり、コンセプトを「女  
性の想いをかなえる美活卵」、キャッ



▲「紅花卵卵」（6個入モールドパック）の希望小売価格は1パック238円（税抜）。



▲新商品「紅花卵卵」発表試食会

チフレーズを「キレイがおいしい」としました。

①女性にうれしいⅡ女性が1日に必要とされるビタミンE摂取目安量6mgが、「紅花卵卵」1個で摂取可能です。また、女性の美を求める活動（美活）のために、1日1個食べていただくことでもっと健康的にキレイを応援するうれしいたまごです。

②美味しいⅡJA全農とJA全農たまご(株)が共同で開発した「美味しいたまご」かけご飯専用飼料（特許取得）を使用してできた全国初の商品で、この飼料に加え、古く

から女性の健康を守る薬草として活用されてきた「紅花」（松前町の契約農場で栽培）の粉末を鶏に与えて、健康な鶏から「濃厚なコクと旨みが際立ったプレミアム卵」が生まれました。たまごかけご飯で調理しても美味しいたまごが味わえます。

③安心・安全Ⅱ自社直営農場で生産し、愛媛県版HACCPの認証GPPセンターで選卵選別し、1個1個を丁寧にパック詰めしています。パックごとに製造ナンバーを記載。生産・製造履歴を独自の履歴コードで管理し、安心安全なたまごをお届けします。

### 3月29日発表試食会開催！

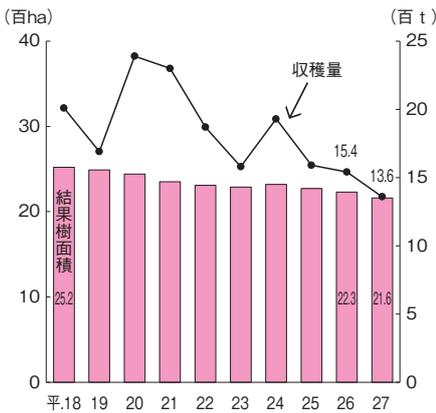
販売に先立ち、3月29日には、松山市のJA愛媛でメインターゲットの女性約20人とメディア関係者を招き、新商品「紅花卵卵」発表試食会を開催しました。大津満代表取締役社長は、「卵にはいろいろな機能性があることを消費者に伝えながら、県内産卵の消費拡大につなげたい」とあいさつ。大勢の方に参加・取材していただき、「紅花卵卵」の特徴や美味しさをアピールしました。

# 統計BOX

## 愛媛県のくり、かきの収穫量は全国屈指

— 平成27年産かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の結果から —

図1 くりの結果樹面積及び収穫量の推移(愛媛県)

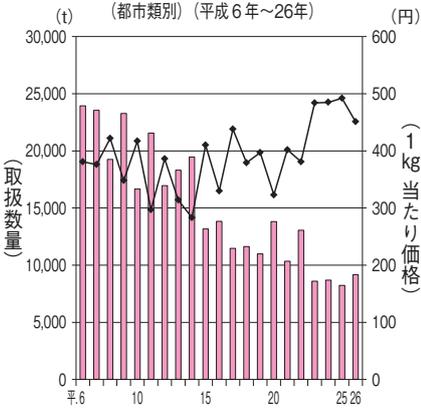


愛媛県の平成27年産のくりは、受粉期の雨による受精不良や、6月から7月中旬にかけての日照不足で生理落果が多く発生しました。結果樹面積は2,160haで、生産者の高齢化による廃園等で昨年に比べ70ha減少しています。そのため、収穫量は前年産に比べて180t(12%)減少し、1,360tとなりました(図1)。全国の収穫量は、8月に九州に上陸した台風15号の被害などで前年比24%減の16,300t(愛媛県シェア8.3%)となつています。

**愛媛県のくり収穫量は12%減少**

「目」に青葉の季節となり、かきやくりの葉もまぶしい緑へと変わってきました。愛媛県は柑橘王国とも言われていますが、このかきやくりも全国有数の収穫量を誇ります。今月は、かきとくりの統計についてみてみましょう。

図2 くりの青果物卸売り市場取扱量及び1kg当たり単価の推移(都市類別)(平成6年~26年)

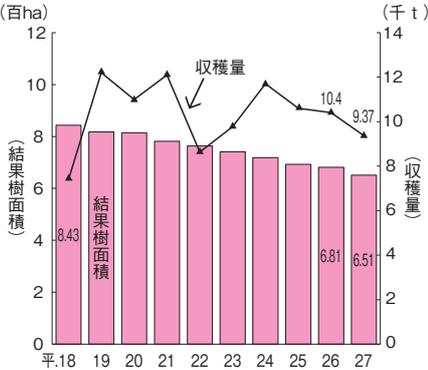


愛媛県の平成27年産かきの結果樹面積は651haで、前年に比べ30ha(4.4%)減少しています。10a当たり収量はへたすきの発生や収穫後期の雨による軟化病の発生で、1,440kgと前年産に比べ90kg(5.9%)少なくなっています。このため、収穫量は、結果樹面積の減少や10a当たり収量が少なかったことで、前年産に比べて1,030t(9.9%)減少し、9,370tとなりました(図3)。全国の収穫量は24万2千t(2.6%)となつています。

**かきの収穫量は全国第8位**

なお、くりの卸売市場での取り扱い状況(青果物卸売市場調査(都市類別))を見ると、20年前、2万3千tあまりあった取扱量が、平成26年には9,171tに減っています。1kg当たり価格のトレンドはやや右肩上がりとなっています(図2)。

図3 かきの結果樹面積及び収穫量の推移(愛媛県)



中国四国農政局愛媛支局 統計チーム

これら各種事業をより多くの方に活用していただくため、農林水産省HPで目的や利用者を選択することにより、必要とする事業の情報が検索できる「補助金等の逆引き辞典」を公開しています。また、中国四国農政局愛媛支局では「地方参事官室ホットライン」を設け、農政に関するご相談や各種制度、事業に関するご質問をお受けいたしますので併せてご利用ください。

で、都道府県別では愛媛県が前年と同じ第8位(愛媛県シェア3.9%)です。生産者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の拡大等、生産現場では негаティブな課題が顕在化しています。が、農林水産省ではそれら諸問題の克服をめざし各種事業を進めています。

★補助金等の逆引き辞典  
[http://www.maff.go.jp/j/g\\_biki/index.html](http://www.maff.go.jp/j/g_biki/index.html)  
 ★愛媛支局地方参事官室ホットライン  
 電話でのお問い合わせは 089(932)1177



## 俳句で自分史を

八木健は、最近、「俳句で自分史」を書くことを誰彼となくお勧めしている。

十三年前から日本農業新聞の俳句の選者をさせて貰っているが、投稿される作品には季語が生き生きと使われていて、俳句が生活史になっていることに気付いた。なるほど、農業の現場はまさに季語の豊かな現場であり、良質の俳句が生まれやすいのである。労働と生活の場が接近していることで、観念的でない、生活実感のある生き生きとした作品が多い。つまり農業新聞の俳句は、大部分は生活史なのだと思った。そこで「俳句で自分史」を思い付いたのである。自分史を書いてみたいと思う方は多いだろうが、長い文章は書き始めたとしてもおそらく挫折してしまおうだろう。ならば、俳句で自分史を書いたらいいのではないか。

実際に、私自身も俳句で自分史を書いてみた。順不同ながらご覧いただきたい。「寒の駅出征兵士は振り向かず」。

これは、昭和十九年のこと。私は満五歳であった。叔父が出征するので近くの駅まで見送りに行った。万歳三唱を受けて叔父は列車に乗り込んだ。私は大きな声で「オジサン！ アメリカの兵隊の首をとって来て」と叫んだ。叔父は振り向きもせず列車の中に消えた。後日、出征兵士は振り向かぬものだと言えられたがその時点では悲しなかった。「子の便り読む五月の畦に立ち」。これは高校を卒業して大学に進学した時のことで、実家の親の姿を想像して書いた。静岡から上京して、四月には親元へ葉書一枚出さなかったのである。携帯電話もパソコンもない時代、両親は便りを待つていただろう。

多分、待ちに待った息子からの手紙を畦に立ったままで読んでくれたに違いない。ごめんなさい。そういう気持ちで句にした。「自転車に括つて運ぶ鏡餅」。祖母は町内に嫁いだ娘のために年末には餅を贈った。この句の中にはそんな優しい祖母がいる。「怖いもの

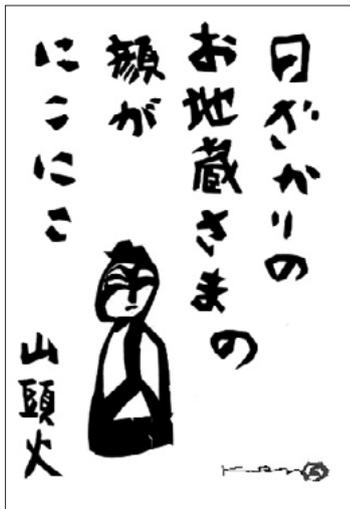
# 八木 健

KEN YAGI

俳人。伊予郡砥部町在住。1940（昭和15）年2月19日、静岡県吉田町生まれ。静岡県立榛原高校、日本大学芸術学部放送学科卒業後、NHKアナウンサーとして40年間勤務する。俳句との出会いは松山放送局時代。NHK「BS俳句王国」（1991～）では企画立案から加わり10年間司会を務める。NHKを定年退職後に本格的な俳句の道へ進む。

現在は、滑稽俳句協会 会長、月刊誌「俳壇」滑稽俳壇 選者、日本農業新聞 俳壇&川柳 選者、愛媛CATV「八木健のCATV俳句」「川柳天国」主宰、俳句美術館 館長、愚陀佛庵「松風会」主宰、国重要文化財 萬水荘 館長、浪曲 虎造節保存会 創立名誉会長、日露音楽文化サークル「ペリョーザ」会長、国際俳句交流協会 会員等、多忙を極める。

- 滑稽俳句協会 <http://www.kokkeihaikuyoukai.net>
- 俳句美術館 <http://www.haikubijutsukan.com>
- 虎造節保存会 <http://www.kokkeihaikuyoukai.net/torazou>



▲「日ざかりのお地蔵さまの顔がにこにこ」山頭火  
山頭火の俳句を切文字にしたもの（八木健アート）



▲「鉄塔が気に入ってゐる寒鳥」  
八木健  
砥部焼の皿に俳句を書き、句皿と名付けている

なし蠅叩手はよたてにあれば」。大東亜戦争も終りに近い昭和十九年から二十年にかけて頻繁に空襲があった。静岡の片田舎の町でも犠牲者が出た。各家で防空壕をつくり空襲警報が出ると先を争って入り、息を殺して警報の解除を待った。家族の中で祖父だけが悠然と蠅叩きをしていた。祖父は日露戦争で熾烈な戦いを経験しているから、空襲警報など歯牙かみゆばにもかけなかったのである。「霜焼しもやけが痒かゆくて母に当たり散らす」。今は栄養不足の子はないが、昭和二十一年に小学校一年となった私は、霜焼に悩まされた。母は洗面器に湯を満たして煙草の葉を入れて、さあこの中に足を入れなさいと応急手当をしてくれた。それでも私は痒い痒いと母親に当たり散らしたのだった。「ラムネ飲む兄と同じに胸叩き」。私は五人兄弟で、二つ違いの兄がいる。この句は学齢前の出来事で、ラムネを飲む兄から半分貰ったときのことである。ラムネを飲んでたらガス抜きのために胸を叩く。兄の真似をして胸を叩いた。当時から、兄を敬愛していた。同じように胸を叩くことが嬉しかったのである。「凍て雲に届かず母を焼く煙」。七年前に母は九十五歳で老衰のため亡くなった。火葬場を振り返りつつ詠んだ一句である。「父の馬まだ駆けて来ぬ草競馬」。父は地方競馬の騎手をしていたので、大井川の川原で春に開催の草競馬の騎

手を務めた。足の遅い馬に乗るときは苦労したようだ。「朝刊の見出しに笑ひバナナ食ふ」。自分史俳句は、一句や二句、誰かに理解されない句があってもかまわないと思う。この句はそんな句である。私がバナナを初めて食べたのは、終戦後の間もない頃で、父が町でバナナを一本買って来た。この一本を家族十三人で食べた。一人一センチ何ミリかだったと思う。こんな旨いもん一本まるごと食べてみたい、と思った。それから十年もしたら、バナナは安く手に入るようになった。そして食卓にバナナ一房が置かれるようになった。食卓には朝刊も置かれていて、大きな見出しに「芦屋のマグム二千五百億円騙しとる」とあった。バナナ一房を自由に食べられる幸せを思いつつ、朝刊の見出しを見て笑ったのである。バナナをいくらでも食べられる時代に、何億円も騙し取ってどうするかどうかと笑ったのである。

自分の心の中にある映像や思い出を、時系列に俳句にしていけば、必ず自分史が出来上がる。小さい頃から順にきちんとつくっていかなくても、思い付いた時に思い出した場面を俳句にしておいて、後で年齢順、時代ごとに並べ変えればよい。是非、おすすめである。

## ●平成27年度愛媛県果樹同志会大会

### 「届けよう愛ある産地の愛あるかんきつ」

県内果樹生産者で組織する愛媛県果樹同志会は、3月17日、松山市の(株)えひめ飲料本社で『届けよう愛ある産地の愛あるかんきつ』をテーマに、「平成27年度愛媛県果樹同志会大会」を開き、28年度の活動方針などを決めました。

大会には、同志会員ら関係者約400人が出席。松浦喜孝果樹同志会長は、「27年産は気象の影響を大きく受けた。愛媛は全国の柑橘産地をけん引する立場にあり、チーム愛媛が一丸となって高品質安定生産に取り組んでいこう」とあいさつしました。

活動基本方針では、温州みかんの隔年結果是正対策、中晩柑類・落葉果樹類を含め高品質安定生産対策に引き続き取り組むとともに、果樹産地構造改革計画の実践と果樹経営支援対策を有効活用し、優良品目・品種への転換や園地整備など経営基盤強化を進めること、消費者交流による売れる商品づくりとPR活動、農政活動の取り組みを確認しました。

大会宣言では、①基本管理の徹底で所得向上を目指そう、②異常気象に負けない高品質果実を連年安定生産、③基盤整備で効率的な農家経営を目指そう、④安全・安心なかんきつを消費者へ届けよう－を採択しました。

大会では、27年度の活動報告のほか、えひめみかん祭り等のコンクール表彰式、小林真三さんの「元気！フレッシュ！イイトコ探し」と



▲えひめみかん祭り果実コンクール西山信さん（JAえひめ中央）



▲えひめみかん祭りほ場コンクール農林水産大臣賞の村上博明さん（JAえひめ中央）

題した記念講演もありました。主な入賞者は次の通り（敬称略。カッコ内はJA名。※早生みかん果実コンクールとえひめみかん祭り果実・ほ場コンクールの主な入賞者は前号までに紹介しているため省略します）。

◆平成27年度柑橘園地若返りコンクール▽愛媛県知事賞＝池内良雄（えひめ中央）

▽優等賞（全農愛媛県本部長賞）＝渡部憲明（おちいまばり）

## ●伊予牛「絹の味」「ふれ愛・媛ポーク」特別試写会開催

### 映画試写会を通じて愛媛県産ブランド肉をPR！

JA全農えひめ畜産部は、3月4日、松山市のシネマサンシャイン衣山で、伊予牛「絹の味」&「ふれ愛・媛ポーク」presents映画「セーラー服と機関銃－卒業－」特別試写会を開きました。

試写会には、テレビ愛媛を通じて100人を招待。のぼりやポスターを掲示した入口では、JA全農えひめ職員らが伊予牛「絹の味」・「ふれ愛・媛ポーク」のミニBOXティッシュをプレゼントするなど、来場者に愛媛のブランド肉をPRしました。



## ●平成28年度JA営農・経済トップセミナー

# 担い手サポートセンター連絡協議会を通じて担い手支援強化

J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会（J A愛媛中央会・J A全農えひめ・J A愛媛県信連・J A共済連愛媛）は、4月6日松山市のJ A愛媛で「平成28年度J A営農・経済トップセミナー」を開き、4月1日設置した同協議会の機能や今後の取り組み、各連合会の支援内容針等を説明・確認しました。セミナーには、J Aの組合長、営農・経済担当役員など関係者85人が出席。J A全農えひめから、「農業所得増大チャレンジ事業」の取り組み概要を説明しました。

J Aグループ愛媛は、昨年開催した第36回J A愛媛県大会決議および愛媛県営農・経済革新プランにおいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現をめざし、集落営農組織・法人の育成や担い手に対応した総合的な農業経営管理支援の強化に取り組んでいます。

特に担い手経営体のニーズ・課題も指導・販売・購買・信用・共済事業等多様化しており、J Aだけでは対応が難しい面も増加する中で、これらに迅速・的確に対応するため、担い手育成やJ A総合事業による事業支援の強化をサポートとともに、「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」等の利活用による愛媛農業の振興に向けて、中央会・連合会で構成するJ Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会を設置しました。特にJ A単独では対応が困難な農業法人や大規模経営体等の担い手へのJ Aとサポートセンターとの同行訪問やサポー



トセンター単独でのダイレクト訪問などを行います。また、集落営農の組織化・法人化支援や会計・税務・労務管理等へのJ A支援に取り組むことにしています。

担い手総合支援は、J A全農えひめとJ A愛媛県信連を中心にJ A・連合会の出向く担い手リストや担い手経営体の情報を共有化する仕組みを構築し、総合力を発揮した個別支援や事業提案を強化します。

担い手育成支援は、J Aの資金就農者の育成・支援や集落営農の組織化・法人化支援に取り組むとともに、J A全農えひめを中心にJ Aと連携した新規産地づくり支援に取り組めます。

担い手対応力強化のため、事業に横軸を通して研修メニューを構築し、J Aの担い手対応に関わる人材を育成します。

セミナーでは、J A鳥取中央の栗原隆政代表理事専務の基調講演、J Aひがしうわの古本陽一営農部長から「TAC活動を柱としたJ Aひがしうわの営農振興」と題した事例報告がありました。

## ●「フレッシュ市部会」総会

# 地産地消の推進・地域貢献に向けてチャレンジ！

「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」のオープンを前に、4月18日、同店直売所出荷者（378人）で組織する「フレッシュ市部会」が総会を開きました。J Aグリーンえひめ時代から数えて19回目の総会では、28年度活動計画、新店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」の運営要領・部会規約等を確認しました。

総会では、フレッシュ市部会の藤井由紀枝会長が、「直売所の競合や会員の高齢化等もあり厳しい状況の中、新店舗では従来のシステムとは異なった部分もありますが、『ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場』という新たな店は、これからの時代に合った、そして一歩進んだ直売所として注目もされてきます。新鮮・安全・安心を基本にした地産地消の拠点として、生産

者と消費者の交流の場として、地域の皆さんとともに歩いていくため、これから私たちも新しいことにチャレンジしていきましょう」とあいさつしました。

28年度活動方針では、魅力ある商品づくり、豊富な品ぞろえにより消費者に支持される売り場づくり、フレッシュ市祭・れんげ祭り・収穫祭等イベントに取り組み、地域との交流やファンづくりを通じて地産地消・食農教育などを推進していくことを確認しました。



## ●第21回 愛媛県子牛品評会

### 県知事賞に近藤明さんと越智章さん

J A全農えひめ畜産生産課は、4月18日、西予市野村畜産総合振興センターで「第21回愛媛県子牛品評会」を開きました。優等賞（県知事賞）は、雌牛の部で近藤明さん（J Aえひめ南）の出品牛「みつひめ9」、去勢の部は越智章さん（J A周桑）の出品牛「大孝」が受賞しました。

品評会には、県内7 J Aから生後1年未満の県内産黒毛和種110頭（雌牛の部51頭、去勢の部59頭）が出品され、月齢に見合う発育をしているか、体積、子牛としてのバランス、資質、品位などを基準に審査し、各賞が決まりました。

近藤さんは、「元気な牛を育てようと粗飼料を主体に濃厚飼料をバランスよくやって十分運動させている。血統が良い牛だったので、もしかしたらとは思っていたがまさか知事賞を取るとは…。30年以上やってきて最高の気分。息子が定年後は後を継いでくれるので弾みになる」と笑顔で知事賞受賞を喜んでいました。

品評会後に今年度第1回目の和子牛臨時市場が開催され、全国的な子牛相場の高騰もあり、1頭あたりの平均価格は雌が前回2月の価格を8万1,985円上回る66万1,129円、去勢は前回は5万8,997円上回る79万1,658円と引き続き高値で取引された。1頭あたり最高額は過去最高となる102万9,240円でした。

平成27年度に開いた臨時市場6回の実績は、



▲県知事賞を受賞した近藤さんと「みつひめ9」

上場頭数682頭、1頭あたりの平均価格は前年を11万8,247円上回る62万8,618円でしたが、今年度は高齢化の影響もあり、上場頭数は30頭ほど減少を見込んでいます。全国的に繁殖飼養頭数の減少が進む中、J A全農えひめは肉用牛センター跡地を活用し、繁殖農家の負担を軽減するCBS（キャトル・ブリーディング・ステーション）事業に取り組み、素牛確保に努めていきます。

その他の入賞者は次の皆さん（カッコ内はJ A名）。

【雌牛の部】▽1等賞＝池田一成（えひめ南）、柳谷産業開発公社（松山市）

【去勢の部】▽1等賞＝池田一成（えひめ南）、岡山則雄（ひがしうわ）

## ●「農業所得増大チャレンジ事業」キックオフ

### 農業所得増大と農業生産拡大に向けて耕種事業キックオフ開催

J A全農えひめは、小越慎介県本部長以下耕種部門の部課長・担当者が一堂に集まり、平成28年度から農業所得増大・農業生産の拡大を目指してスタートする耕種事業「農業所得増大チャレンジ事業」キックオフ大会を開きました。

「農業所得増大チャレンジ事業」は、耕事業関係部門の連携を強化し、J Aグループ自己改革の最重点実施分野である「農業者所得増大」「農業生産の拡大」（共通目標：販売品取扱高の拡大）の実現に向けて、マーケットイン（実需者ニーズ）に基づく生産・販売事業方式への転換、トータルコスト低減の実践、多様な農業者ニーズへの対応を重点事項として、農家手取り最大化と愛媛農業の振興に貢献することにしていきます。

キックオフでは、小越県本部長は、「各チームの責任者である課長がリーダーシップを発揮



し、スピード感を持って取り組んでほしい」とあいさつ。事業間連携強化と事業拡大を進めるため、事業方針及び28年度の推進体制とともに、食糧チーム、果実チーム、野菜・花卉チーム、生産資材事業、TACチームの28年度取り組み方針・具体策を確認し、計画を着実に実践していくこととしました。

# なんでもBOX

## 「えひめの食」企画のテレビ&ラジオ広報番組が 南海放送で5月からスタートしました！

J A全農えひめ「えひめの食」企画のテレビとラジオの平成28年度広報番組（えひめ愛フード推進機構と共同提供）が、5月から南海放送でスタートしました。

### ■タイトル：「えひめの食 月岡瞳のとれたて新鮮アグリ男子」

番組では、若手愛媛県内の若手農業者にスポットを当て、愛媛の農業・農産物の魅力や生産者おすすめの食べ方や料理などの情報を発信し、地元消費者に農業への関心を深めてもらい、旬の地元農産物の購買意欲促進と消費拡大につなげていきます。

#### ①南海放送テレビ

「えひめの食 月岡瞳のとれたて新鮮アグリ男子」

◆毎月第1・第3日曜日（第2・第4日曜日の場合あり）11時25分から5分間放映

5月8日から、毎月第1・3日曜日（第2・第4日曜日の場合あり）11時25分から5分間放映します。現地取材の映像を交えて、スタジオ出演の生産者が農業への想いや将来の夢、農畜産物の魅力を紹介します。来年3月まで22回放映します。

番組の詳細は「えひめの食企画」ホームページまで。番組告知やテレビ番組放送分の視聴ができます。

#### ②南海放送ラジオ

「えひめの食 月岡瞳のとれたて新鮮アグリ男子」

◆毎月第2水曜日に12時35分から5分間放送。

テレビで紹介しきれない旬の食材やJ A全農えひめのグループ会社の商品をPRします。

5月11日からスタートし、来年3月まで11回放送します。

#### ◇ テレビ放送スケジュール（予定）

回	放送日	品目	取材先J A	備考
1	5月8日(日)	蚕豆	松山市	※第2日曜
2	5月22日(日)	トマト	愛媛たいき	※第4日曜
3	6月5日(日)	裸麦	松山市	
4	6月19日(日)	メロン		
5	7月3日(日)	アスパラガス		
6	7月17日(日)	ピーマン		
7	8月7日(日)	きゅうり		
8	8月21日(日)	夏秋なす		
9	9月4日(日)	媛ポーク		
10	9月18日(日)	新米		
11	10月9日(日)	柿		※第2日曜
12	10月23日(日)	里芋		※第4日曜
13	11月6日(日)	伊予牛		
14	11月20日(日)	温州みかん		
15	12月4日(日)	紅まどんな		
16	12月18日(日)	いちご		
17	1月8日(日)	ブロッコリー		※第2日曜
18	1月22日(日)	いよかん		※第4日曜
19	2月5日(日)	甘平		
20	2月19日(日)	せとか		
21	3月5日(日)	しいたけ		
22	3月19日(日)	清見		

※ 取材品目ならびに取材先については、変更の可能性あり。



▲第1回放送に出演したJ A松山市の八東直哉さんとスタジオ収録風景



▲第2回放送に出演したJ A愛媛たいきの吉岡恵一さん



●愛媛みかんはとても美味しいと大人気。旬の柑橘を贈りあう愛のオレンジロードに取り組みJ A全農えひめ果実課は、最高のアイデアだと思えます。愛媛産柑橘のPRと消費拡大に向けて頑張ってもらって、我々生産者は大変うれしく思います。

●柑橘の出荷が終わり、少し時間が取れるようになりまし。一生懸命柑橘づくり頑張りました。美味しい良いミカンを出荷することができ大変うれしく思います。今年も頑張ってください。柑橘づくりに取り組みたいです。

(上島町・益崎 君枝さん)

●オレンジデーは、「お互いの愛を確認し合う、愛を深める日」とありましたが、夫婦になってもいつまでもオレンジデーは必要だと思います。娘は帰郷すると、東京の日本酒好きの知人への土産に「山丹正宗」を買って帰りました。正直言って、今治の地酒とは知りませんでした。高級感溢れる山丹正宗のデザイン、見れば見るほどつとりしてしまいます。私は車を走らせ、素敵な看板を目印に㈱八木酒造部を確認しました。

(今治市 阿部 節男さん)

●過疎・高齢化が進み、担い手不足の中山間地の農業で一番必要としているのが労働力支援。その期待に見事に応えたJAおちいまばりの取り組み。越智貴彦さんのようなTACが1人でも増えることを期待しています。

●農山村において交通弱者、買い物弱者が増えている現在、わが大洲市豊茂地区では、自治会が主体となって週2回の移動販売を実施して、お年寄りに大変喜ばれています。

(大洲市・大本 昭裕さん)

●八木健さんのふるさとエッセー。「多忙を楽しむ」という言葉の忙しいマイナスではなく、忙しいことを楽しむことができれば最高ですね。

(今治市・後藤 亜紀さん)

●エッセー「多忙を楽しむ」。昨年からは俳句を始め、ラジオの「いつき組一句一遊」に投稿しています。読まれると嬉しくて、笑顔で一日過ごしております。一日中、頭は俳句モードで、家事や農作業をしながらネタを探しております。多趣味の八木さんの真似はできませんが、大変

参考になりました。頭の健康のためにも、続けていきたいと思っています。多忙を楽しんで。

(四国中央市・高橋 治子さん)

●ふるさとエッセーのページをめくるとカッコいいおじさんの大きな写真。どこかで見たことのあるおじさん、アナウンサーの八木健さんと「多忙を楽しむ」という見出し。私の好きな言葉。一体どんな楽しみ方をしているのだろうと興味津々で読みました。陶芸・俳句・ハイクアートなどいろいろなことをされている。そして長く継続されている。特にハイクアートが大好きでした。たくさんの趣味を活かされ楽しんでおられるので、カッコよくて、いつまでたっても若々しいおじさんです。多忙な時ほど楽しい。何ゆえか私によく似ていたので不思議に思えて楽しく読ませていただきました。昭和15年2月生まれの人ってこんなか。同年代の心意気。まだまだ今から楽しみます。

(西条市・高橋 千代美さん)

●八木健さんに会えてうれしい。ニコッと顔がゆるんでくる。毎日、テレビで見ていた人だけに、注目度は100%。楽しみにしています。

(今治市・村越 久美子さん)

●ふるさとエッセー、八木さんの巻。40年ほど前に八木さんがラジオのDJをしていた頃、よくリクエストハガキを書いていました。それから八木さんの名前はよく耳にしました。現在もいろいろ活躍されている姿は、40年前とあまり変わりないです。キラキラ輝いています。素敵です。

(西条市・武田 五月さん)

●表紙は毎月楽しみにしています。可愛いですね。愛媛といえばボンジュース、みかんが有名ね。私の妹はボンジュース、京都の姪は伊予柑をとっても気に入っていて、毎年10ケースを贈答用や姉妹で分けるのに送ります。新商品もいろいろ出ていますが、昔ながらの伊予柑が大好きです。今年は寒さが長かったし、キャンペーンも大変だったことでしょう。みかんは毎日体に良いので食べています。愛媛に住んで幸せです。

(松山市・武智 セツ子さん)

## 今月のクイズ

4月29日東温市に農産物直売所とコンビニエンスストアの一体型店舗がオープンしました。店の名前は？

「ファミニーマート・○○○○○広場」

### プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

### 応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

### 締切り

平成28年6月20日(当日消印有効)

### 発表

「あぐり〜ど」7月号で発表します。

### 当選者発表

3月号の答えは「オレンジ(デー)」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- 楠 裕子さん(松山市) 高橋八重子さん(新居浜市)
- 兵頭 陽子さん(宇和島市) 藤田亜紀子さん(今治市)
- 伊藤 静香さん(新居浜市) 高岡 涼香さん(宇和島市)
- 山田 祥江さん(松山市) 曾我部しおりさん(今治市)
- 井原 愛美さん(西条市) 嶋津 幸子さん(青森市)

## 編集後記

★特集で紹介しましたが、「ファミリーマート」が東温市にオープンしました。オープン時は入店制限するほどの近況で、お近くに寄ってくださいます。天候に大きな影響を及ぼす「エルニーニョ現象」が過去最長続いており、その後は「ラニーニャ現象」と紹介されています。天候不順が当たり前の昨今、普通の天候を期待したいものです。(正直) 一訂正とお詫び

◇4月号ねっとわーくで紹介したジュース消費拡大・愛用運動の表に誤りがありました。「愛媛の味わい柑橘100」のケース入数は1ℓ×6本、「愛媛の不知火50」は1ℓ×8本でした。お詫びして訂正いたします。



今月の素材  
しいたけ  
生椎茸



ミネラルや食物繊維たっぷり  
ゆたかな森からの贈り物

▶(左後) 椎茸のゴママヨネーズ和え、(右後) 椎茸の肉詰め、(中) 椎茸と鰹のバターポン酢炒め



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古 正子先生

椎茸のゴママヨネーズ和え

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約195kcal

椎茸	4枚
イカ	80g
新ジャガイモ(中)	1個(約150g)
セロリ	1本
赤タマネギ	1/2個
カイワレ大根	1/2パック
塩	少々
ゴマペースト	大さじ1
マヨネーズ	大さじ4
醤油	小さじ1
煎りゴマ	適量

〈作り方〉

- 椎茸は薄切りにして茹で、冷水にとる。
- イカはそぎ切りにし、サッと塩茹でし、冷水にとる。
- 新ジャガは半分に切って薄切りにし、サッと茹でてザルにあける。
- セロリは筋をとり、薄切り。赤タマネギは薄切りにして水にさらす。
- ボウル①を入れて混ぜ、水気をよく切った①②③④を混ぜ合わせる。
- 器に盛り、カイワレ大根を飾る。

椎茸と鰹のバターポン酢炒め

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約103kcal

椎茸	8個
アジ	3尾
塩・コショウ	少々
片栗粉	適量
長芋	100g
酢	大さじ1
人参	1/3本
インゲン豆	8本
塩	少々
サラダ油	適量
ニンニク(スライス)	1カケ
ポン酢	100cc
バター	10g

〈作り方〉

- 椎茸は石づきをとり、半分に切る。
- アジは3枚卸にして骨を抜き、塩・コショウをふり、半分に切って片栗粉をまぶす。
- 長芋は1cm厚の半月切りにし酢水につける。人参は短冊切り。
- インゲン豆は半分に切り、塩茹でし、冷水にとる。
- フライパンにサラダ油を熱し、②を焼き、一旦取り出し、油とニンニクを加えて熱し、香りを出す。
- ①③を炒めて、再びアジを加え、ポン酢を入れて絡め、最後に④とバターを入れる。

椎茸の肉詰め

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約210kcal

椎茸	12個
片栗粉	適量
鶏ミンチ	200g
白ネギ(みじん切り)	1/2本
卵	1/2個分
片栗粉	小さじ1
酒	大さじ1
塩	少々
生姜汁	小さじ1/2
サラダ油	大さじ1
酒	50cc
みりん	50cc
濃口醤油	50cc
砂糖	大さじ1
青ネギ(小口切り)	2本
糸唐辛子	適量

〈作り方〉

- 椎茸は石づきをとり、内側に片栗粉をつける。
- ボウルに鶏ミンチを入れ、④を加えてよく混ぜ、①の内側に詰めて、片栗粉をつける。
- フライパンにサラダ油を熱し、最初は椎茸(外側)を下にし、次に裏返し、両面を焼く。
- 火が通れば、⑧を加え、少し強火で絡める。
- 器に盛りつけ、青ネギと糸唐辛子を盛る。

えひめ逸品柑橘

愛媛  
かわちばんかん  
河内晩柑  
サイダー 期間限定

愛媛県  
イメージアップキャラクター  
みきゃん

柑橘王国「愛媛」の隠れた逸品をお届け

「河内晩柑」は品種が発見された熊本県にある河内町の「河内」と、遅い時期に採れる柑橘類の総称「晩柑」から名付けられました。爽やかな香りと味わいが特徴の河内晩柑果汁炭酸をお楽しみください。

河内晩柑は和製グレープフルーツと呼ばれてるよ!

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地  
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

http://www.ehime-inryo.co.jp  
(通販専用) http://www.pom-j.com



1日1個

# 卵で美活

はじめませんか？



Vitamine **E**

1個で女性1日の  
ビタミンE摂取目安量  
(6mg)の摂取が可能です。



お問い合わせ JAえひめフレッシュフーズ株式会社  
愛媛県伊予郡松前町大字徳丸字五屋敷 771-18 ☎089-984-8186  
ホームページ <http://fresh-ranran.jp>



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

この冊子は再生紙を使用しています。